

3 連休明けの 1 月 14 日(火)に抜き打ちの避難訓練(地震想定)を実施いたしました。今回の避難訓練については、実施日は予告しておりましたが、何時間目に行うのかについてはほぼ全教職員には知らされておらず、いざという時の対応力が問われるスタイルで行いました。期せずして当日の午前 4 時 53 分には茨城県南部を震源とする最大震度 4(横浜では震度 3)の地震が起きていました。

お正月明けのこの時期の地震というと、保護者の皆様や地域の方々にとってはやはり「阪神淡路大震災」が思い浮かぶのではないのでしょうか。今から 25 年前の平成 7 年 1 月 17 日午前 5 時 46 分、明石海峡を震源とする M7.3 の地震が起き、6,343 名の方々が亡くなりました。当時高速道路から半分その車体を乗り出していたバスや、まるで将棋倒しになって倒れていた団地の建物などの映像は本当に衝撃的でした。火災や津波による被害ではなく「倒壊」による被害が多かったのもこの地震の特徴だったのではないのでしょうか。

避難訓練では「大きな揺れを感じた時にはまず頭を守る行動をしよう」という話をしました。家庭でも学校でもとにかく頭を守り、それ以外の行動は揺れが収まってからで十分。自分の命を守ることを最優先にしましょうということを伝えました。

今回の避難訓練は避難開始から集合、そして報告までの時間が 4 分 59 秒。抜き打ちにもかかわらず 5 分を切るという、時間的にみるととてもしっかりと取り組めたと言えるものです。時間が短縮されているということは、それだけ集中して子どもたちが行動できたということでもあります。起こってほしくはないですが、万が一発災した時でも今回の訓練の時と同じように落ち着いて集中して行動できるようになってほしいです。